

令和6年 池田町教育総合会議 議事概要

- 1 開催日時 令和6年3月7日(木) 15:00~16:00
- 2 開催場所 ツドエル2階 洋会議室
- 3 出席者
杉本博文(池田町長)、内藤徳博(池田町教育長)、平井浩一(池田町教育企画官)
佐藤秀幸(教育長職務代理者)、佐飛正美(教育委員)、岸本英明(教育委員)、
南田哲也(教育委員)、飯田康志(教育委員会事務局長)、吉田昌美(教育委員会事務局
主査)
- 4 協議事項
新教育大綱について(平井企画官より説明)

(町長)

皆さんの意見を伺いたい。

(A 委員)

とても良い教育大綱になったと思う。大変お疲れさまでした。学校教育ではこれに基づきプランを立てることになると思うが、池田町の子どもたちの体力についても考えてもいいのではないか。親が車で全部送り迎えをするから、池田町の子どもたちの体力は落ちている。今は農作業もないし、都会の子どもたちより体力がない。学校で体力を担保するようなことを何か考えてあげても良いのでは。健康寿命を延ばすことになるし、体力は財産になる。

(町長)

おっしゃるとおり。分かりました。学校・社会・家庭で認識を高めていく。

(B 委員)

地区対抗スポーツ大会があったが出てこない方は全く来ていただけない。そういう人をなんとか引っ張りだしたいと思っているが、どうしたら来るか聞いたら「ユーチューバーが来たら行きます」と言われた。

(C 委員)

地区対抗スポーツ大会について自分は知らなかった。もっと宣伝したらいいのではないか。「『みんなで育む』家庭・地域・学校の連携を深め、地域における子育てネットワークの構築」とあるが、具体的にはどういったものを考えているのか。

(企画官)

まーるいテーブル会議等で、文化団体・スポーツ団体と学校を連携させたり、地域によって、子どもがたくさんいる地域、いない地域があるので、池田町全体で親子で学ぶ場などを作っていけたらと考えている。

(C 委員)

子どもの相談をできる場などそういった場をつくるのではないということか。

(町長)

そういった場は大事だと思う。水海でも花火大会をやりはじめて、大変だということで区が援助するようになり、母親クラブも子どもが参加する企画を作り加わるようになった。誰かがやろうと言いだればみんな協力して参加していく。C 委員さんは音楽をしているが、音楽の場で何かできないか。

(C 委員)

音楽…。水海の A さんがしている子どもの劇団があった。そういった活動は支援していけないか。

(町長)

そういったアイデアがあれば、また実行の場で入れていく。

(D 委員)

大綱の社会教育、スポーツ関係が動き出せば、特に社会教育が動き出せば池田町が盛り上がるのかなと思っている。「誰かが」で止まってないで、一人でも何人かでも立ち上げて動き出すといいなと思う。

(企画官)

来年度からは、社会教育委員さんが中心となってアイデアを出し合い、町民の活動を活性化できればと思っている。

(町長)

社会教育という面では、「過疎を活かそう学校」の活動があり、社会教育委員さんも半分ほど入って活動している。昨年2月の内容について池田チャンネルにも流せないかという声があり、池田チャンネルでも3月から放送することになった。6年度4月からは社会教育委員の活動として取り組むことになり、私も、顧問という形で仲間に入れてもらうことになった。一歩ずつ取り組みを進めていく。

厳しい現実だが、人口減少が進んでいるという現実を受け止め、義務教育学校について進めていく。教育委員さんにも中に入れていただき、検討を進めていきたい。

その他、大綱に関連することでは、学校の校外学習や修学旅行を実質無料化し、保護者の負担軽減を図るとともに、学習効果の高い学びの場としていきたい。文化スポーツでは、薪能とゲッター選手権を継続し、文化スポーツ振興とともに観光資源としても考えていきたい。また、子育て支援としては、父親の育児休暇に対しても支援をしていくことなどを考えている。

この大綱について、特におかしいということがなければ、教育委員さんにご了承をいただいたということによろしいでしょうか。

(委員全員)

はい